

# いごいのみぎわ

## 天路歷程 ジョン・パニヤン

### 第26話

2022年5月15日～5月21日 各家庭でのディボーション用テキスト

いくら空いばりをして、増長させるのはばか者だけです。「知恵ある者は、譽を得る、しかし、愚かな者ははずかしめを得る」【箴 3:35】とソロモンも言いました。

**信仰者** 私たちは恥知り者との闘いには、主に助けを呼び求めねばならないと思います。主は私たちが地上で真理のために勇敢であることをお望みなのですから。

**基督者** お言葉のとおりです。ところで、あの谷ではだれかほかの人にお会いになりませんでしたか。

**信仰者** 会いませんでした。その谷も、また死の陰の谷も、後はずっと日が照っておりましたから。

**基督者** それはよかったですね。確かに私はそれとはだいぶ違った目に会いましたよ。あの谷に入るとほとんど同時に、例の悪魔アポロンと長いこと恐ろしい格闘をしました。実際彼に殺されると思いましたが、とりわけ私を打ち倒して、下に組みしき、粉碎しそうになったときには。私を投げたとき、剣が手から飛んでしまったのです。もうおれのものだ、とあいつが言ったくらいです。しかし、私が神に向かって叫びますと、神はこれを聞かれて、すべての労苦から私を救い出して下さいました。それから死の陰の谷に入りましたが、それを通り抜ける道の中ごろまでは何の光もありませんでした。そこでは何度も殺されるかと思いましたが。しかし、ついに夜が明け、日が昇りましたので、残りの道中はずっと気楽で静かでした。

その上私が夢で見ていると、二人が進んで行ったとき、信仰者がふと一方を見ると、饒舌（おしゃべり）者という名の男が二人の側を少し離れて歩いているのが見えた。（ここは彼らがいっしょに歩くだけの余地があった。）彼は背の高い男で、近くで見ると少し離れて見た方が幾分男振りがよく見えた。この男に信仰者は話しかけた。

**信仰者** 君、どちらへ。天国へお出かけですか。

**饒舌者** そこへ行くところです。

**信仰者** それは好都合です。ではごいっしょに参りたいものです。

**饒舌者** 喜んでお仲間に入れていただきましょう。

**信仰者** さあ、それではごいっしょに参りましょう。そして有益な事柄を話して時を過ごしましょう。

**饒舌者** 善い事を話すのは、あなたやまたほかのだれとでも私は喜んでしましよう。実際のところ、旅をしながらこのように時を過ごそうと心がけている人はごくまれで、たいていは役にも立たないことを喋ろうとするものです。これは私にとって苦勞の種でした。

**信仰者** それは実際嘆かわしいことですね。地上の人間の舌と口を使うのに、天の神のことほどふさわしいものがありますでしょうか。

**饒舌者** あなたがとても気に入りました、おっしゃる事が確信に満ちていますから。私もつけ加えて申しませう。神のことを話すくらい愉快で有益なことがまたとありませんか、(つまり人が驚嘆すべき物に少しでも喜びを持つとすれば、)こんなに愉快なことがありますか。たとえば、人が事物の歴史や神秘を語ることを喜び、あるいはまた奇跡や不思議やしるしを語ることを愛するならば、聖書にあることほど楽しく記され、美しく書かれてあるものをどこに見出すでしょうか。

**信仰者** お言葉のとおりです。しかし、私たちが話をしているうちに、そういうものから利益をうけることが私たちの目的でなくてはなりません。

**饒舌者** そこですよ、私の申したのも。そういう事柄を話すのは非常に有益ですからね。それによって、人はこの世の事柄の空しいことや天上の物の利益など多くの事の知識を得るのです。(これは一般のことですが) もっと分けて言えば、人はこのことによって、新生の必要や、私どもの行ないの不十分なことや、キリストの義を必要とすることなどを学ぶことができます。のみならず、このこと、つまり談話によって、悔いること、信じること、祈ること、苦しむことなどがどういうものであるかを学ぶことができます。またこれによって、人は福音の大きな約束と慰めとを学んでみずから慰めることができます。さらにまたこれによって、人は誤った見解を論破し、真理を証明し、また無知な者を教えることを学ぶでしょう。

**信仰者** 皆おっしゃるとおりです。このような事を聞くのはうれしいことです。

**饒舌者** 悲しいかな、話をすることが足りないために、永遠の命を得るには信仰が必要であり、魂における恵みの働きが必要であることが分かっている人がこんなにも少ないのです。たいていは愚かにも律法の業の中に暮らしているのですが、それによっては決して天の知識は得られません。

**信仰者** しかし失礼ですが、こうしたことについての天の知識は神の賜物であって、人間の勤労や、その話だけではだれも達せられないものです。

**饒舌者** それはもう皆よく存じております。「人は天から与えられなければ、何ものも受けることはできない」【ヨハ3:27】ですからね。すべてが恵みであって、行為によるものではありません。これを確認するためなら、聖句を百も引くことができますよ。

**信仰者** なるほど、それでは、私たちが今話題とする一つの事は何にしましょうか。

**饒舌者** 何なりとご随意に。天上のことであれ地上のことであれ、道德のことであれ福音のことであれ、宗教のことで、世俗のことで、過去のことで、未来のことで、外国のことで国内のことで、本質的のことで付屬的なことで、私たちの利益になりさえすれば、何なりとお話ししましょう。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい